

普及活動情勢報告（令和2年4月分）

安芸農業振興センター農業改良普及課

第1亜主枝の充実を図ろう！ ～JA高知県安芸地区芸東集出荷場ポンカン部会せん定講習会～



そうやって切るがや～

3月23日、室戸市吉良川地区においてポンカンのせん定講習会を開催し、部会員の半数を超える10人が参加しました。

室戸支所の職員は講師として、主枝先端部の枝を間引き、各結果層に光が入るよう凹凸をつくり、「第1亜主枝を充実させる」せん定方法について実演しました。

参加者からは「とにかく邪魔になる枝だけをのけていたが、骨格や同年枝の考え方が理解できたので早速試してみる」といった声が聞かれました。

室戸支所は、今後も関係機関と連携して、ポンカンの安定生産および品質向上に向けて支援していきます。

今年も順調に生育してます!! ～JA花卉部中山支部シャクヤク現地検討会～



栽培暦も参考にして
防除してくださいね。

3月25日、JA花卉部中山支部がシャクヤクの現地検討会を開催し、9人が参加しました。

農業改良普及課は、栽培暦を活用しながら収穫後の病虫害対策や肥培管理について指導しました。

生産者からは、「灰色かび病には何の薬が効く?」、「肥料はこれぐらいでもかまんろうか?」などの質問があり、栽培管理への理解を深めたようでした。

農業改良普及課は、今後もJAと連携してシャクヤクの栽培推進による中山間地域の振興に取り組みます。

高品質の維持を目指して ～安芸ピーマン部会目慣らし会～



選別基準を確認する生産者

4月8日、安芸ピーマン部会が安芸集出荷場で目慣らし会を開催し、生産者5人が参加しました。

果形や果色などを生産者及び集出荷場職員で確認し、選別基準の統一を図りました。

農業改良普及課は、栽培終了まで品質を維持できるよう、今後の天候を見越した病害対策、生理障害果対策を指導しました。

農業改良普及課は、今後も関係機関と連携して病害対策を指導し、ピーマンの高品質の維持を目指します。

「感染の拡大を抑えること」が重要です！ ～ナス青枯病の対策について～



発病株をハウス外へ持ち出す様子

今作は促成ナスのほ場で青枯病の発生が多く見られたため、農業改良普及課では1月中旬から4月上旬に感染拡大防止のための巡回指導を実施しました。

主な対策として①発病株の持ち出し処分、②切り株からの菌泥の流出を防ぐためのビニール被覆、③電熱刃ハサミを用いた整枝・収穫の3点を指導しました。

また、こうち農業ネットにこれらの対策を掲載し広く生産者に注意喚起を行っています。

農業改良普及課では、今後もナス青枯病の対策について指導を実施していきます。

自然薯の植え付けが最盛期



桜が満開の4月上旬、安田町中山地区では地域の特産品である自然薯の植え付けが最盛期を迎えました。今年は暖冬の影響で例年より早めの植え付けとなっています。

同地区では、中山自然薯部会の14人が自然薯を約1ha栽培しており、昨年は約3.7tの出荷がありました。

11月下旬頃には長さ1メートル前後の立派な自然薯が収穫できます。

農業改良普及課では、中山地区に実証ほを組むなどして、自然薯栽培技術の安定を図り、今後も特産品による地域活性化を支援します。